

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ戸塚第二保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：井澤 くるみ	定員（利用人数）：110名 （利用人数：110名）
所在地：〒244 - 0003 横浜市戸塚区戸塚町6002-39 TWINS YAMAKI 1 2・3F	
TEL：045-881-0408	ホームページ： https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_031.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2012年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：20名 非常勤職員：6名
専門職員	保育士：17名 保育補助：4名
	栄養士：3名 調理師：1名
	事務員：1名
施設・設備の概要	保育室：7室 トイレ：4ヶ所
	調理室：1 事務室：1
	調乳室：1 沐浴室：1
	園庭：有

③理念・基本方針

【企業理念】 子ども達の未来のために

【保育理念】 豊かに生きる力を育てる

【ビジョン】 トリプルトラスト2030

職員と親子と地域に最も信頼される存在になり、ことも達の育ちと学びのインフラになる。

【クレド】

グローバルキッズは「子ども達の未来のために」

子どもを中心にした保育の実践がもっとも大切であるところえています。

私達は「職員と親子と地域に最も信頼される存在になり、

子ども達の育ちと学びの社会インフラになる」ことを目指します。

私達は子ども達に対し「豊かな心を持った輝いた大人を魅せる」

ことを約束し 実践によって大人になっても夢や希望があることを伝えます。

私達は子ども達のために「豊かに生きる力を育てる」ことを最大の使命としています。
グローバルキッズは子ども達に夢をもたせ感謝の心を養い 学ぶ姿勢といった社会における「生きる力」をはぐくみます。

④施設・事業所の特徴的な取組

【保育目標】

- ・意欲や好奇心が、夢につながる子ども
- ・思いやりを持って行動できる子ども
- ・積極的に挑戦し、最後まであきらめない子ども

【保育方針】

- ・やってみたいが、やってみようになる保育
- ・子どもの気持ちに共感し、保育士も共に成長できる保育

園の特色は、世界に羽ばたく子ども達の未来を育て、自立心や、他者の気持ちに寄り添える子どもを目指し、保育をしています。その為に、自分がやりたいことを自ら選び、達成感を育てることが、とても大切だと思われま。保育室内ではコーナー遊びを中心にままごと、絵本、製作等に分け、その中で友だちとの関わりを大切にしています。

毎週水曜日、3歳児～5歳児クラスでの外国人講師による、英会話を行っています。異国の文化を知り、ダンスや歌を取入れながら、楽しく英語に触れています。

クリスマス発表会など大きなイベントについては、動かすのではなく、動ける環境づくりに徹し、子ども達の要望や意見を取り入れながら取り組み、子どもの成長に繋げています。

保育園の魅力として、保護者に信頼される保育園を目指しています。

保護者に園の保育の一日の流れについて理解を深めてもらうために「保育士体験」を実施しています。実際にエプロンを付けてクラス保育に参加し子ども達と一緒に食事を行っています。体験を通して園での保育の仕事の理解を深め、コミュニケーションの向上に繋がっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日） ～ 令和6年3月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2020年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)子どもの自主性を尊重したイベントに取り組んでいます

園ではさまざまな行事を行っていますが、運動会やクリスマス発表会など大きなイベントには、子どもの自主性や考えを大切にしながら、子どもと職員が一体になって積極的に取り組んでいます。クリスマス発表会の取組では、幼児クラスは子ども達がやりたい劇を考え、配役も自分たちで話し合って決め、意欲的に参加できるよう支援しています。劇で使う道具をアイデアを出しながら職員が中心となり手作りで準備しています。舞台として近隣で設備の整った戸塚フォーラムを借りて発表し、子どもたちにとって貴重な経験となり、成長につながっています。

2)子どもが心地よく過ごせる環境づくりを行っています

子どもが心地よく過ごせるよう、常に保育に適切な状態を保持しています。職員が保育室の清掃を丁寧に行い、クラスクリーンチェック表をファイル管理しています。室内は大きな窓から射し込む自然光に満たされています。色とりどりの子どもの作品や壁面装飾が飾られ、優しく親しみのある空間を創り出しています。5歳児クラス以外には仕切りのない一体的な空間で、全職員が全体を見渡しながら安心安全な保育を行っています。職員が作成した段ボールの仕切りを利用して、子どもの様子に応じて環境を設定しています。

3)保護者の保育士体験により保育の理解を深めています

保護者に園での子どもの保育の一日の流れを知ってほしいとの思いから、希望する保護者に実際にエプロンをつけて、クラスでの保育に参加してもらい、食事も子ども達と一緒に食べるプログラムを毎年実施しています。保護者と保育士が一体となって子どもの成長を喜び合える体験となっており、保護者の保育の仕事への理解が深まっています。

4)チームによる保育への取組が期待されます

園全体の保育力を高めていくために、園長や職員同士のコミュニケーションを活発化し、何でも意見の言い合えるオープンな環境づくりを整備し、チームワークと情報共有により、保育の質の向上を図りながら取り組むことが望まれます。人員体制で欠員が生じた時に、早急な補充が望めない中で、保育の質を維持していくために、どういう体制で対応したらよいかなどを職員間で話し合いながら対応していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回第三者評価を、受けさせていただき、ありがとうございました。
職員一体となり、より良い質の高い保育を目指していきたいと思えます。保護者からのアンケートで、保育士の対応についてアドバイスをいただき、謙虚に受け止め、改善をしていきたいと思えます。
また、第三者評価の方々には、励みになるお言葉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。
安心、安全を目指し、子ども達にとってより良い環境作りをしていきたいと思えます。

ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり